

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（市町村における実施のイメージ図）

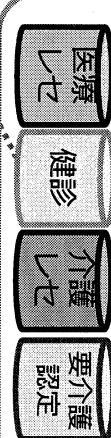
④多様な課題を抱える高齢者や、

閉じこもりがちで健康状態の不明な高齢者を把握し、アウトリーチ支援等を通じて、必要な医療サービスに接続。

国保中央会・国保連が
分析マニュアル作成・市町
村職員への研修等を実施

医療・介護データ解析

- ①事業全体のコーディネートやデータ分析・通いの場への積極的関与等を行うため、市町村が、地域に保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の医療専門職を配置
- ②高齢者一人ひとりの医療・介護等の情報を一括把握
- ③地域の健康課題を整理・分析



⑤国民健康保険と後期高齢者
医療制度の保健事業を接続

介護予防の事業等

- ①民間機関の連携等、通いの場の大規模な拡充や、個人のインセンティブとなるポイント制度等を活用
- ②通いの場に、保健医療の視点からの支援が積極的に加わることで、通いの場や住民主体の支援の場で、専門職による健康相談等を受けられる。
- ③ショッピングセンターなどの生活拠点等を含め、日常的に健康づくりを意識できる魅力的な取組に参加できる。
- ④フレイル状態にある者等を、適切に医療サービスに接続。

経費は広域連合が交付
(保険料財源+特別調整交付金)

生活機能の改善

※フレイルのおそれ
のある高齢者全体
を支援

- ⑥社会参加を含む
フレイル対策を
視野に入れた取
組へ
- ⑦医療専門職が、
通いの場等にも
積極的に関与
- ⑧市民自らが担い手
となって、積極的
に参画する機会の
充実

①通りの場に、保健医療の視点からの支援

- ・が積極的に加わることで、
・通いの場や住民主体の支援の場で、専門
職による健康相談等を受けられる。

- ・ショッピングセンターなどの生活拠点等
を含め、日常的に健康づくりを意識でき
る魅力的な取組に参加できる。
- ・フレイル状態にある者等を、適切に医療
サービスに接続。

市町村が一体的に実施